

地域協会紹介 No.8

今回は宇部市介護支援専門員協議会のご紹介です。当協会は昨年12月末で128名の会員による協議会です。正確な組織率は母数が不明で分かりませんが、次第に低下しているように感じます。

組織としては、会長、副会長、理事の元に事務局、総務、広報、研修の各委員会が存在します。どこも同じでしょうか、事務局が一番金銭管理、県、国からの連絡など、通常の業務の上にボランティアでお願いするのが心苦しい状況です。

広報委員会は年数回としていた会報も1回になってきました。原稿を集めて、編集して、印刷して、袋詰めして、発送して、という時間が現代に合わなくなってきており、今後はSNS、メーリングリスト、ブログ、インターネットサイト等を使っての、会内、会外広報にシフトしたいとは思っておりますが、カバー率の問題があり、いまだに業務以外では携帯を持たないという介護支援専門員も存在し、頭を悩ませております。ただし、印刷物はあくまでも記録という認識で、やはり最低年に1回の発行は必要であると考えております。

研修は本来、介護支援専門員協議会のメインとなるべきものです。会員に聞いても、「研修の充実を」という声が挙がるのですが、では具体的に何が必要なのかというとはっきりしません。また、介護保険立ち上げ当初と違い、今では県が、市が、そして県協会が研修を開催しており、更には他の団体や他職種連携の会や緩和ケアの勉強会など、各種方面に渡って様々開催され、市の協議会として本当に必要な研修は何なのだろう？本当に会員に役に立つ研修は何なのだろう？と模索を続けております。今後はできれば、市と共同して、新任専門員への研修を行っていきたいと考えております。

総務はその名の通り、総務で雑ばくな仕事内容となりますが、各種行政関連の会議への出席者の調整などを行っております。行政から出席要請があるのは大変ありがたい事ではありますが、それらの中でプロフェッショナルな介護支援専門員として要請されているものと、居宅介護支援事業所として要請のあるものがある様な気がしますが、特に宇部市では居宅介護支援事業所の協議会が存在しないところもあり、また当協議会に参加していない事業所もあり、如何なものかと思っております。

また、逆に積極的にこちらから連携を進めているものとして、宇部市内での各種病院地域連携室、MSW、そして訪問看護ステーションとの顔の見える連携の会であったり、宇部市の医師会の在宅医療委員会との懇談会を行っております。今後は更に訪問看護ステーション及びヘルパー事業者の方々との情報交換会も行っていきたいと考えております。

以前より他職種との連携はもとより、近隣の協議会との連携も図りたいと思っておりますので、お近くの協議会にはぜひ宜しくお願いしたいと思っております。

～春をさがしに♪～

『今回の地域協会紹介に合わせて、宇部市で春をさがしてみました』

宇部市で人気の観光スポットの一つ、「常盤公園」。行かれたことがある方も多いのではないかと思います。人気者のペリカンや遊園地などで有名ですが、春になると園内はいろいろな草花で彩られます。3月下旬から4月にかけては多くの花見客でにぎわいます。梅雨時期になると、あじさいやしょうぶなどが観賞でき、季節毎の草花を楽しむことができます。

また、園内のいたるところに趣向を凝らした彫刻を見ることができ、2年に1度の彫刻の祭典、「UBEビエンナーレ」も開催されています。

皆様も今年の春は常盤公園の彫刻を鑑賞しながら、お花見などはいかがでしょう♪

